

白鶴美術館 春季展

生きもの活き!

美術でめぐる白鶴動物ワンダーランド

新館

中東絨毯の
動物文



2026年
3月3日(火) → 6月7日(日)

休館日

毎週月曜日
(5月4日は開館、7日木曜休館)

開館時間

午前10時～午後4時30分
(入館は午後4時まで)

入館料

大人 800円 / 大学・高校生 500円 / 中学・小学生 250円
※上記各団体20名以上2割引、65歳以上500円





五彩魚藻文壺
明時代



重要文化財
鍍金狩獵文六花形銀杯
唐時代



鍍金獸形隔金具
戦国時代



鳥形缶
西周時代



セムナーン ペルシア北部
20世紀初期

新館 中東絨毯の 動物文

生きもの 活き!

美術でめぐる白鶴動物ワンダーランド

今回の展示では主な所蔵品である中国美術工芸および日本の書画のなかから、動物が表現された美術品を展示いたします。
今から3000年以上前の殷・西周時代の青銅器には、眼力鋭い獣面や横向きの鳥などがよく表されます。それは特定の動物というよりも様々な動物を組み合わせた幻獣として描かれたものです。その後の美術にも、うねうねとした身体をもつ奇怪な動物たちや雲気をまとう神獣・幻獣たちの世界は思想とともに立ち現れるのです。唐時代に入るとそうした動物たちとともに、活き活きとした姿で描かれた現実の動物たちも中国美術を彩るようになります。当館の銀器はそうした描写に富んだ作品です。
癖邪・天文・吉祥など、なんらかの意味を持つことの多い中国美術の動物たち―。本展では古代の幻獣や神獣、身近な動物たちなど、人びとが表してきた動物たちの造形を、描かれた背景や目的にも注目してみたいと思います。
新館では中東絨毯に描かれた動物たちを紹介します。併せてご鑑賞ください。

Event イベント情報



文化財講座 <講演会>

定員：40名

テーマ：「文化財の修理 ―白鶴美術館作品を中心に―」
日 時：5月3日（日）午後2時～3時
講 師：箭上文化財修復 代表 田川新一朗氏



中国古代文化の動物を知る <講演会>

定員：40名

テーマ：「東アジア・神獣探訪」
日 時：5月24日（日）午後2時～3時30分
講 師：二松学舎大学文学部教授 松浦史子氏

<スライド解説>

定員：40名

テーマ：「展示のみどころ」
日 時：3月7日、4月4日、5月2日の各土曜日 午後1時～2時
講 師：当館学芸員

<ワークショップ>

先着15名(席数：5)

テーマ：「羊の毛と糸のワークショップ」
日 時：4月26日（日）、5月6日（祝・水）・10日（日）午後1時30～3時30分
指導員：甲南大学学生

<アート・トーク>

定員：40名

テーマ：「美術のなかの動物」
日 時：6月6日（土）午後1時～2時30分
講 師：当館学芸員



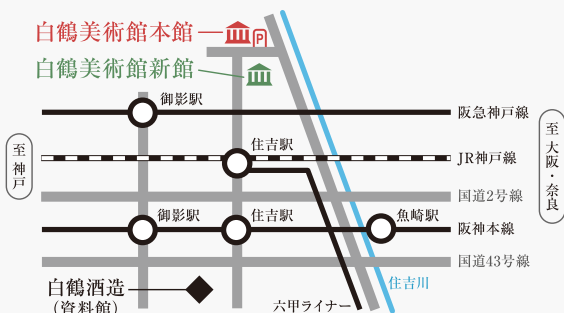
中東文化の動物を知る <講演会>

定員：40名

テーマ：「中東絨毯の動物たち」
日 時：6月7日（日）午後2時～3時30分
講 師：龍谷大学国際学部准教授 林則仁氏

- 予定の変更や入場制限など、最新の情報は当館公式サイト及びお電話でご確認ください。
- イベント参加には入館が必要です。
- イベント参加予約は行っておりません。ご参加は先着順（定員数まで）となります。

Information インフォメーション



公共交通機関でお越しの場合

- 阪神本線「御影駅」、JR神戸線「住吉駅」から市バス38系統 渦森台行き「白鶴美術館前」下車
- 阪急神戸線「御影駅」から 北東約1km（徒歩15分）

お車でのお越しの場合

- 阪神高速道路3号神戸線 大阪方面「魚崎出口」から約1.5km
 - 阪神高速道路3号神戸線 姫路／明石方面「摩耶出口」から約6km
- ※無料駐車場あり（大型バス可）

次回秋季展は
2026年9月26日(土)から開催予定です

公益財団法人
白鶴美術館
HAKUTSURU FINE ART MUSEUM

《お問い合わせ先》
〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手6-1-1
TEL/FAX: 078-851-6001